

評価細目の第三者評価結果  
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ-1 保育課程の編成

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㊦・b・c
良い点/工夫されている点： ・いわゆる「全体の計画」の中に従来の保育課程が含まれることになったが、本園の保育の根幹をなすものであり、全くオリジナルな保育課程が編成されている。	
改善できる点/改善方法：	

Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㊦・b・c
良い点/工夫されている点： ・築後50年を経過した建物の老朽は感じるが、職員は園舎の内外の隅々まで気を配り、大切な乳幼児期を過ごす幼保連携型認定保育園としてふさわしい環境の整備に努めている。 ・各クラスに温度計・湿度計を設置し、快適且つ健康的に過ごせる環境を保つようにしている。 ・各年齢や発達に応じた教材や道具は、清潔にしコーナーに配置して使いやすいようにしている。 ・コーナーの中にはどのクラスも休憩コーナーがあり、欲求や必要に応じて体を休められるようにしている。 ・食事の場所や睡眠の場所は、一人ひとり決まっており毎日同じ場所、同じ時間帯にすることで安定した生活が送られるようにしている。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅳ-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㊦・b・c
良い点/工夫されている点： ・未満児クラスの育児担当制、以上児クラスの異年齢保育は、一人ひとりの子どもの発達成長を見守り、受け入れ、援助していくための保育スタイルとして定着している。 ・送迎時・育児手帳・個人懇談を通して、家庭と園との様子を伝え合い、相互の子どもへの関わり方や援助の仕方に繋げている。 ・子どもの気持ちを尊重し、十分に話を聞いたり、不十分な時にお互いの気持ちを言語化している。 ・保育士全員が、静かに、優しく接しており、大きな声で子どもに支持をすることはなく、子ども達が自主的に動くよう見守っている。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅳ-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㊦・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過ごしやすい環境作りのため、一人ひとりの生活リズムを家庭と連携をとりながら日課を組み、こまめに見直すようにしている。</li> <li>・月齢差や個々の発達、意欲に合わせて基本的な生活習慣を身につけられるよう促し、自分でできることが増えていくよう、「やってみたい」と、思ってもらえるような言葉かけや、関わりを意識している。その際、時間がかかることもあるが、達成感・次への意欲がもてるようじっくり待ったり、さり気ない援助を心がけている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（４） 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、好きな遊びを見つけられるように、様々な教材・玩具を準備している。また、その時々の子どもの興味に併せた役割遊びやコーナーの展示を心がけている。</li> <li>・遊び以外でも、社会の様々なことへの知識や興味が豊かになるよう毎月テーマを決め、学びを深めたり、製作ができるような環境作りをしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（５） 乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達過程に応じて遊ぶ環境や必要な保育を考えている。</li> <li>・歩行が安定した子どもは園庭、ハイハイができる子どもはテラスや保育室で過ごすというように配慮を加えながら、その中で担当の保育者との応答的な関わりをすることで愛着関係を形成し、安定して探索活動や遊びが展開できるようにしている。</li> <li>・育児手帳や口頭での伝達で、家庭との連携も取り入れながら成長の共通理解をしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（６） ３歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児担当制の保育を行うことで、昨日できなかったことが今日はできるようになった。今、何に興味を持っているのか、といった子どもの成長を日々感じることができるよう、個々に合った援助を行うことができる。</li> <li>・一対一で関わることができ、丁寧な保育が行えるため、子どもも安心して過ごすことができる。</li> <li>・遊びは担当を外れ、職員皆で空間を見守るようにし、自主的に好きな遊びを見つけ興味・関心を満たしながら発達を促していけるような環境作りを心がけている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>。</p>	
<p>Ⅳ－２－（７） ３歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢での生活の中で、年長児が就学していく姿をイメージしながら、環境認識・毎身体操・わらべうた・年長会議の時間を設けている。</li> <li>・個々の特性を尊重して、集団の中で友達と協力したり、異年齢で力を合わせて積極的に遊びや取り組みに関わっていけるよう、保育者が適切な援助をしている。</li> </ul>	

<p>・運動会・作品展など保護者や、近隣の小学校など地域の方に見に来ていただけるような案内をしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（８） 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との育児ノートで家庭と園との様子を伝え合ったり、成長の確認や、困っていることなどを共通理解できるようにしている。</li> <li>・幼児支援教室の参観や面談を行い、保育内容や関わり方に配慮し成長に繋がるようにしている。</li> <li>・職員は、保育心理士の資格所得の研修を受けたり、園のスーパーバイザーの助言をもらい知識を深め、保育に取り入れている。</li> <li>・園のスーパーバイザーに、気になる子の様子を見てもらい必要に応じて保護者の方と面談をしてもらうようにしている。</li> <li>・トイレの一部に車椅子対応の便器を設置したり、バーを取り付けてある。また、玄関にはスロープも設置し環境整備に配慮している。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（９） 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児・幼児とも、こどもの主体性を大切に保育をしており、保育者間で連携しながら子どもの状況に合わせて生活できるよう心がけている。一人ひとりにあわせた日課を考えることでゆったりと過ごすことができる。</li> <li>・送迎時や個人懇談にて子どもの様子を伝え合い、共通理解を深めて保護者と共に子どもたちの成長を見守っている。</li> <li>・延長保育では、軽食が準備されており、保育時間の長い子どもたちへの配慮がされている。また、保育者二名が必ずいる状態で延長保育を行うので、安全に過ごすことができる環境となっている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（１０） 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で、就学に向けて発達を促す工夫がされている。</li> <li>・保護者にも、懇談や見学会を通して、保育の内容について知ることのできる機会もしっかりと設けられている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅳ－３ 健康管理

		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅳ－３－（１） 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>		<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良で欠席した後の登園時には、保護者の方から欠席中の様子、朝の様子を確認している。</li> <li>・普段の様子と比べ、活気がなかったり食欲のないときには、こまめに検温し視診を念入りに行う。</li> <li>・鼻汁・咳・熱・嘔吐など、一日の様子を保護者に伝え帰宅後も、継続して様子を見てもらうように</li> </ul>		

<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギー児については、担任以外の職員にも情報を周知・共有している。</li> <li>・保育者では判断がつかない場合には、看護師に診てもらい処置をしてもらったり、指示を仰ぐ。</li> <li>・感染症が流行する時期には、感染情報を玄関のボードに掲示している。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>・</p>	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果は個別に保護者に連絡し、職員間にも結果が周知されている。</li> <li>・よく噛んで食事することや、歯の大切さを日々の保育を通し伝えている。</li> <li>・年に1回年長児のブラッシング指導がある。また、家庭での生活に反映されるよう咀嚼が必要なランチメニューや歯を丈夫にする食品などを紹介している。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月除去食懇談を行い、除去する食材、代替の献立について確認している。その懇談は、かならず保護者・担任・調理室・事務室からの4者が参加し、間違いのないよう共通で把握するようにしている。</li> <li>・アレルギー除去の献立について、配膳中間違えて出してしまうわないよう、除去する子の名前のプレートと共に、他の子とは色の違うトレイを出してもらうようにしているので、除去食懇談での内容を基に確認しながら提供することができる。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、食事をしている子どもの様子を見に行き、食べ具合や箸の持ち方・食器の扱い方・姿勢など、個別に声かけをしている。また、形や大きさ・調理方法など子どもに適しているかを確認している。</li> <li>・以上児は、園の花壇を利用して野菜を栽培している。水やり・草抜きなどの世話をしたり、収穫後自分たちで調理をして食べたりして、食について関心が深まるための取り組みをしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢によって、食べやすい大きさや食べられる量に配慮したり、嚥下しやすいようにとろみをつけるなどの工夫をしている。</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・七五三には赤飯、冬至にはかぼちゃの煮物など、様々な行事食を提供している。</li> <li>・残食や担任からの意見を聞き、献立・量・調理の工夫に反映している。</li> <li>・夏期の食中毒警報発令時や、ノロウィルスに注意が必要な時期には職員・保護者に向けて注意を喚起している。</li> </ul>
改善できる点／改善方法：

**評価対象V 子育て支援**  
**V-1 家庭との緊密な連携**

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未満児は、毎日連絡帳で保護者の方とやりとりすることで、園ではわからない家庭での子どもの様子を把握することができ、それに併せて関わりをすることができる。また、毎日同じ保育者が記入することで、保育者と保護者の方との間にも信頼関係が生まれる。</li> <li>・以上児は、送迎時に一日の様子を伝えたり、玄関に日報を掲示している。また、保育見学会では実際に保育・教育の様子を見学できる機会を設けている。</li> <li>・毎月のお便りや、行事前のお手紙を通して園の方針や保育内容の理解を図っている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

**V-2 保護者等の支援**

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の送迎時に一日の様子を伝えたり、育児手帳・個人懇談で相互の様子を共有するようにしている。</li> <li>・個人懇談は適切に記録にし、内容に応じては職員会で話し合われたり園長・指導保育教諭からの助言を受けたりしている。</li> <li>・担任以外でも、保護者が悩みを相談できるような体制を作っている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、玄関に職員がいるので親子の様子をチェックすることができる。また、クラスでも毎日の視診はもちろんのこと、月に一度の発育測定時に身体の様子を見ている。</li> <li>・虐待に関する研修には、順番に出席するようにし、情報を把握するよう努めている。</li> <li>・保護者とは、懇談を設けたり、毎日の送迎時に関わり話すようにしている。</li> <li>・必要に応じて、専門機関との連携を図り情報を共有している。</li> </ul>	

改善できる点／改善方法：

**評価対象Ⅵ 保育の質の向上**

**Ⅵ-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）**

	第三者評価結果
Ⅵ-1-（1） 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未満児は、子どもとは別の時間に昼食を摂るので、その時間を利用して子どもの様子や対応に困った事などを話し合うようにしている。</li> <li>・月に一度のクラスミーティングは、他のクラスから午睡中の補助をしてもらうので子どもの保育から離れた環境の中、じっくり話をする事ができる。</li> <li>・公開保育・園内見学研修では、客観的に保育を見たり助言をってもらう機会になり保育実践の振り返りができている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

**評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）**

**Ⅶ-1 安全管理面でのサービス**

	第三者評価結果
Ⅶ-1-（1） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者侵入の想定で、避難訓練を行っている。（各保育室の場所や年齢に応じて避難方法を変えている）</li> <li>・さすまたが玄関に設置してある。</li> <li>・延長保育時間は、玄関の自動ドアを施錠しインターホンで対応してから解錠するようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

**Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション**

	第三者評価結果
Ⅶ-2-（1） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人懇談は、一日一組ずつの保育参加なので、自分のこどもの様子・友達との関わり・活動への参加・食事面など、普段通りの姿が見てもらえたり、ゆったりと関わる時間を持つことができる。</li> <li>・日時や期間が決まっているので、前もって予定を立てることができる。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会・アルバム委員の活動を理解し施設等の提供、出納の補助、活動への協力をしている。</li> <li>・また、年度初めには役員と担当職員の顔合わせをし、保護者会等の組織の活動や基本的な方向性について意見交換を行い、コミュニケーションを図るよう努めている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、地域の小学校には授業参観・懇談会に参加したり、小学生との交流も行っている。</li> <li>・他の保育所・保育園とは研修の際に情報を得たり交流をしている。</li> <li>・公開保育を行うことも、他園との連携・交流になっている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	